

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「その人らしい安心のある快適な生活を提供する」「地域との交流を深める」という理念を事業所内に掲示して、実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	法人が自治会に加入しており代表が、総会に出席して地域の情報を得ている。新型コロナウイルスの影響もあり以前のように交流することが難しかったが、地域のボランティアに来ていただくなど交流を深めることができた。	地域との交流を図るため、まずはグループホームがどのような施設か知ってもらうことが必要。校区内の自治会長や民生委員などと積極的に交流を持つことからスタートしてみる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回の頻度で開催し、利用者の状況や行事等報告している。家族の参加が少ないため、十分な意見交換が出来ていない。	家族の積極的な参加を促すためにも、参加意欲が湧くような会議内容や、企画が必要。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に市担当者が参加し、意見交換や情報提供を行っている。	概ねできているので、今後も継続する。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	「身体拘束廃止に関する指針」に基づき、拘束しないケアに取り組んである。玄関の施錠は極力開錠出来るよう努めている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センサーマットや居室入口の鈴などを活用するケースがあるので、これらも身体拘束に該当するという意識を持つことが必要。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修を行い、職員全員で意識を高め虐待防止に努めている。言葉遣い等、気になることはその都度話し合いを行っている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切な言葉遣いも虐待に該当する可能性がある。研修を活用し実践できるよう取り組む。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	制度を利用している利用者はいるが、全職員で学ぶ機会を持つことが出来ない。			



8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用開始前に、家族との時間を設け説明を行っている。改定等あれば、その都度書面にて知らせ、了解を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や家族へ連絡するときに近況報告を行い、要望や意見を聞くようにしている。玄関に意見箱を設置しているが、十分活用できていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真等活用すれば、生活の様子が分かりやすい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	専用のボードに、伝達事項や意見及び提案等のメモを貼り意見や提案を聞く機会を設けているが、十分活用できていない。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の勤務状況を把握し、働きやすい環境づくりに努めているが、人員不足等の要因により不十分な面もある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マンパワー確保に際し、職員募集は随時行っている。マニュアルの作成や見直しにより、新入職時の指導不備を解消したい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修の年間計画を立案し、担当職員が講師で研修を実施しているが、一人ひとりの力量把握までは至っていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修は部署内の少人数で開催している。併設医療機関の研修に積極的に参加し、必要な内容は情報共有する。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同業者と交流の機会が設定できなかった。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の中で、洗濯干しや洗濯たたみ、米研ぎなどを一緒に行い、支え合える関係が築けるよう努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会の継続や外出など、家族との交流が継続できるよう支援している。	本人が培ってきた人間関係や社会との関係を把握し、これらの関係を断ち切らない支援が重要。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段のケアの中で意向が汲み取れるよう努めている。また、その情報を職員間で共有し、思いに添えるよう支援している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や本人の要望を聞き取り、介護計画を作成している。定期的にモニタリングや見直しを行い、状態が変化した場合は見直しを行っている。	アセスメントとモニタリングを繰り返しながら、要望や状態に応じて臨機応変に見直ししていくことが重要。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の受け止め方に差があるので、共通した評価ができるよう取り組みが必要。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いや訴えなど言葉を生活記録に記入している。変化があれば申し送り表に記入し、情報共有を図っている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者と一番身近に関係を築いている職員しか知り得ない気づきを、個別記録等に具体的に記すことが大切。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	散髪ボランティア、訪問歯科診療などその時々合わせた対応に取り組んでいる。	職員の意識改革も含め、事業所全体で取り組んでいく必要がある。サービスの多機能化ができるよう継続検討していく。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	地域ボランティアに来ていただき、交流を深めたが十分とはいえない。	地域から更にボランティア活動していただけるような働きかけが必要。現ボランティアに声をかけるなど、更なる拡充に努める。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人及び家族の希望に添えるよう受診に配慮している。協力医療機関も専門外来が多いので、必要に応じて受診している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に協力医療機関とは、月に一度情報共有の場を設けている。入院時は早期退院早期受け入れできるよう随時情報交換を行っている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設医療機関に入院した場合は綿密な連携が図れている。併設医療機関以外でも同様に連携が図れるよう取り組みたい。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りに関する指針を活用し、施設で対応可能な内容を家族に説明している。必要に応じて主治医や家族、職員と話し合い、方針を決めて支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や本人の希望により看取り及び終末期の対応を行っている。併設医療機関や併設施設でも同様の対応できるので、適宜家族等の意向を確認しながら支援する。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修に急変時の応急手当や、初期対応の訓練を取り入れ、全職員が実践力を身につけるよう努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、昼夜の火災を想定した訓練を実施し、問題点はその都度話し合う機会を設け、次の訓練に活かしている。	設備面はスプリンクラー及び自家発電機も完備しているので、ハード面は特段心配ない。地域との協力関係の構築が今後の課題。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難場所の確認や応援体制を確認する必要がある。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々を尊重し、プライバシーを損なわない声かけなど、配慮した対応を心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の声かけの中でも拘束に該当する場合もあるので、日頃からスタッフとの信頼関係を構築することが大切。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のペースやその日の気分に合わせて、ゆっくり好きな場所で過ごせるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	屋食は利用者と一緒に施設内で調理している。また時々事前メニューを変更し、食事の楽しみに繋げている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の好き嫌いにも対応している。時に献立を変更し、利用者の好みに合わせた対応等工夫している。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	嚥下状態や残歯の状況に応じて食事形態を工夫している。食事量や水分量はチェック表に記入することで、1日の摂取量を確認している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後は口腔ケアの声掛け及び見守りを行っている。訪問歯科診療を活用し、定期的に口腔ケアを実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔内トラブルは他の疾患に繋がることもあるので、日頃より観察を強化する。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排せつ状況に応じて、トイレの声掛けや誘導を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護者の視点や都合でなく、利用者の視点で必要なケアを行う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週3回入浴を行っている。 昼間の入浴を嫌がる方は夕食後に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状況を把握して、希望や体調に合わせて休息できるよう支援している。 寝具や室温にも配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬管理ファイルを作成し、薬の作用副作用が分かるようにしている。薬の増減があれば、申し送り時に共有し、体調の変化を観察している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方変更などは申し送り時に情報共有し、観察を強化し必要に応じて受診時に主治医へ報告する。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の家事やレクリエーションなど、個々の状況に応じ、役割が持てるよう支援している。また趣味活動も積極的に取り入れ、画一的にならないよう支援している。	個々に応じたプログラムを検討している。 1日1人1作業は行うように取り組みたい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力を得て外食や買い物など、外出の機会を支援している。 時にはドライブで日頃と違った環境を提供している。	新型コロナウイルスが5類となって以降、面会や外出制限は比較的早く緩和できた。 家族との外出頻度も増えている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人がお金を管理することはないが、本人の安心や家族の希望により、お金を所持することもある。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に家族と手紙のやり取りを行っている。希望により電話での交流にも努めている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食堂から時季に応じた花が見えるので、季節を感じてもらっている。また、季節に合わせた壁面制作物や習字作品を掲示している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	明るく過ごし易い空間づくりに努める。スタッフにとっても動きやすいよう、動線を検討する。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者との会話や関わりの中で、思いや意向が汲み取れるよう取り組んでいる。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント時に必要な情報収集を行っている。また、家族からの情報も取り入れるよう努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の主治医等と連携し、健康面等必要なケア・支援を提供するよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小さな変化にも気づくことができるよう、日頃から観察を行う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で情報共有し、これまでの暮らしに沿った生活が出来るよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室に家庭で使用していた物を持ってきていただき、居室環境を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の思いや考えを尊重し、大切にしている者等を手元に置くなど、適切な環境づくりに努める。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ADL や感染症等の状況により、外出の機会が減っている。	併設医療機関の売店へ出かけるなど、身近な所から外出する機会を提供すること努める。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できることは可能な限り、自分で行ってもらうよう努めている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のペースに合わせて活動できる場面を提供するよう努めているが、十分ではない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフも生き生きと働ける環境を作ること で、利用者に対しても良いサービスが提供できる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	立地的にも近隣や地域の人々との交流が殆ど出来ていない。	併設施設との交流しかない。立地上なかなか困難ではあるが、地域行事への参加や作品出展などで交流の機会を増やすことから取り組む。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と職員の信頼関係づくりなど、安心して生活できるように繋がる環境づくりに努めている。	最期に過ごせた場所がここで良かったと思われる支援をしていきたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族の満足度が高められるようスタッフ全員で取り組む。